

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回白子中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年6月10日(火) 11:30~12:50

2 場 所 白子中学校 被服室

3 あいさつ(学校運営協議会委員長)

- ・子どもたちの日頃の授業の様子や食べているものを試食する良い機会としていきたい。

4 授業観察及び給食試食

〈意見〉

- ・自分たちの時代に比べたらずいぶんおいしくなっていて、器もきれい。
- ・給食は鈴鹿市の学校はみんな一緒の献立なのか。  
→中学校は全校一緒の献立、小学校は自校給食とセンターで献立が異なる。
- ・アレルギーの対応はどうしているのか。  
→容器の色を分けるなど個別に対応している。
- ・学校が長期欠席中、給食センターは何を行っているのか。  
→メンテナンス作業や清掃活動を行っている。
- ・廊下が汚れやほこりが多く見られたので週2回の清掃で工夫していく必要がある。日頃から意識してほしい。
- ・遅刻・欠席が多いようだが保護者の協力も必要である。
- ・グループ学習で一人でしている子が一人で集中しているのか、孤立しているのかの見極めはしっかりしてほしい。

5 協議内容

(1) 学校評価について

- ①学力向上×ICT活用
- ②長期欠席対策
- ③非認知能力育成
- ④地域連携
- ⑤学校における働き方改革
- ⑥人権教育

〈意見〉

- ・自分たちの意見が反映されている。
- ・子どもたち目線で行っていき、子どもたちの「できた」を増やしてほしい。

- ・地域の行事に来る中学生のボランティアの子たちはとてもいい。多くの子たちに参加してほしい。
- ・人権教育について生徒主体の取組もあるのか。  
→生徒会が主体となって人権フォーラムの取組やいじめ防止の取組を行っている。

(2) 教育委員会事務局教育支援課より

- ・普段の子どもたちの様子や日頃子どもたちが何を食べているのかを見て食べてと良い機会になった。
- ・鈴鹿市内で取り組んでいる複線型の授業も見てもらうことができた。
- ・学校自己評価では委員の皆様の意見が反映されているものとなっている。
- ・非認知能力の育成にも関わってくるが、ボランティア活動を行うことで地域でも子どもたちを育ててもらうことができ、自己肯定感の醸成に繋がる。
- ・部活動地域移行に伴い、地域行事等が中学生の居場所づくりになり、子どもたちの活躍する良い機会になる。

(3) その他

①今後の予定について

次回9月4日(火) 16:00

- ・全国学力・学習状況調査
- ・熟議「子どもの自己肯定感を育むために」